

娘に会いにフランスへ

日本からはるか1万^キ離れた大陸の西の端、フランス…。

世のたまたまを感じる美しい街です。

娘がこの地に降り立つて3カ月、どんな留学生生活を送っているのかフランスまで会いに行ってきました。

「お母さん、フランスってね、パリ以外はおばあちゃんの住んでいる北海道と同じだよ」。これが、昨年初めて短期留学でフランスを訪れた娘の第一声です。農業国フランスには、豊かな大地と天空広がる大空があります。フランスの都市の周りに広がる農地は、十勝の風景と共通するものがあり、この季節は青々と芽を出した小麦畑が広がって十勝に在るような錯覚をします。そしてこの大地

で作られる小麦がフランスの「食」を支えています。今回は私もホームステイ先で2泊し、フランスの暮らしを垣間見ることができました。「ボンジュール」で始まり「メルシ」で終わる人間関係は心温かく、長くいるほど心に残るものがあります。フランスの人々の生まれた娘がフランスでいろいろな国の人々と話をしてる姿に頼もしさを覚え帰国しました。

かちまい論壇



夢工房 y. b. H. 代表
「十勝産小麦パン教室」
主宰

早川 喬恵

似ており、私にも娘にも心地よい空気が流れておりました。娘はフランスでたくさんの留学生と出会い、世界への扉を開けることでしょう。フランス料理、フランス菓子、おいしいもの、フランスパン。おいしいものの代表がこの国にはたくさんあります。その理由は原材料にあり、おいしくて新鮮な牛乳、野菜、果物がたくさん取れ、チーズやワインは世界一のおいしさを誇っています。そして今回の旅で、十勝にもフランスに負けないくらいおいしい牛乳や野菜、小麦があると確信できました。十勝という価値を十勝の人たちが認識することが十勝の未来につながります。皆さまどうぞ良いお年をお迎えください。